石巻専修大学
「石巻専修大学」ホームページ https://www.senshu-u.ac.jp/ishinomaki/

石巻専修大学
広報係
〒986-8580
宮城県石巻市
南境新水戸1番地
☎0225-22-7717（直）

2018年4月
創立30年を
迎えます

2017 石鳳祭 盛況

ダンス愛好会の華やかなステージ

メインテーマは「画竜点睛」

「2017石鳳祭」が10月7、8日に開催された。今年のメインテーマは「画竜点睛」。初日はあいにくの雨となったが、2日目は快晴に恵まれ、秋深まるキャンパスに多くの学生、卒業生、市民が集まり、ライブや模擬店などを楽しんだ。

遠藤志穂実行委員長（人間3・宮城県塩釜高）の「ようやくこの日を迎えられた。心から楽しんでいってください」というあいさつの後、恒例の餅まきでスタート。

学生会館前に設けられた野外のメインステージでは、両日ともお笑いライブが開催された。

初日はお笑いコンビ「流れ星」「上木恋愛研究所」、2日目はピン芸人「永野」「シオマリアッチ」が登場し、会場は大盛況だった。実行委員が企画した男装・女装ショー「石鳳パリコレ」や、ダンス愛好会によるダンス、現代芸術研究会によるライブが行われ、出演者に大きな声援が飛んだ。

模擬店や地場産品の販売、フリーマーケットも行われ、多くの人が秋の味覚に大満足の様子だった。

また、理工学部の「ひらいてみよう！ 知の玉手箱」が同日開催された他、各学部が主催する企画展もにぎわっていた。

現代芸術研究会のパワフルなライブ

ホームカミングデーも

7日には「ホームカミングデー」も開催された。出席者は旧友や恩師との再会を喜び、時がたつのも忘れ語り合っていた。

理工学部が学外実習

船上でプランクトンの採取に取り組む学生たち

理工学部の生物科学科と情報電子工学科の2学科は、キャンパスを飛び出し、学外実習を行った。

生物科学科では、海洋生物コースの3年次生23人が参加し、8月29日から31日まで、石巻市牡鹿半島で海洋生物学実習が行われた。

初日は宿泊地の狐崎浜漁村センター周辺の海岸や漁港でプランクトンの生物相や生物密度の昼夜比較調査に取り組んだ。2日目はチャーターした3隻の漁船に分乗して沖に向かい、狐崎浜から田代島付近で海洋観測を実施。最終日はデータ分析と調査成果発表会で締めくくった。

御簾納（みすの）優花さん（3年次・東京都明治学院東村山高）は「船上での観測は初めてで緊張した。みんなで協力し、良い実習ができた。今回の経験や調査データを生かし、自分の好きな海洋生物について探究していきたい」と話した。

情報電子工学科の3、4年次生は9月7日、13日の2日間、宮城県内にある3社の生産工場を訪れた。

今回の実習には20人が参加。「トヨタ自動車東日本大衡工場」「東北電力新仙台火力発電所」「キリンビール仙台工場」を見学し、最新の生産技術、品質管理、生産ラインの効率化などについて、実際に見て、理解を深めた。

就職を間近に控えているだけに自身の進路決定に役立てることもできた。

学生8人 シアトルで研修

米国シアトルで行われた2017年度国際体験研修と現地語学実習に参加した学生8人が、3週間の研修を終え9月11日に帰国した。

8月20日に出発し、ホームステイをしながらシアトルパシフィック大学内の語学学校で英語を集中的に学習。英語力や国際感覚を養った。

グループレッスンを終え、講師と記念撮影

午前はグループレッスン、個人レッスンが日課で、初めの頃は「自分の意思を伝えられない」「先生の話が聞き取れない」ともどかしさや戸惑いの表情が目立った。午後はシアトル市内の観光や買い物に出かけて気分転換。ホストファミリーとの交流が深まるにつれ、リスニング力も向上し、それぞれが「先生に何度も聞き返して積極的に会話をつなげるようにした」「わからない単語や表現のリストを作って覚えた」と努力した結果、少しずつコミュニケーションがとれるようになった。

早坂成也さん（人間3・宮城県石巻商業高）は研修の収穫を「勉強への意欲が増したこと、全く知らない土地で生活する精神力が身についたこと」と話す。「国際社会がさまざまな問題を抱える中で、困難な状況にいる人の力になれるように頑張りたい」と英語の習得に意欲を燃やしている。

「おでんバーガー」開発

石原研究室・ゼミが提供

経営学部石原研究室は石巻市の事業者と設立した「石巻フードツーリズム研究会」とともに、石巻の練り物文化を生かしたまちづくり事業「石巻おでんプロジェクト」を進めている。プロジェクトには石原ゼミの学生も参画。9月26日に石巻商工会議所で開催された商品発表会では、石巻市のメーカーが製造した揚げかまぼこと、石巻が発祥の地とされている「ぼたん焼きちくわ」を使った「石巻おでんバーガー」を披露し、来場者に試食品を提供した。

練り物に地場産の野菜を挟むとともに、バンズにも石巻産の小麦を使用。ゼミ生の上野大樹さん（4年次・福島県清陵情報高）は「試行錯誤して苦労した分、まろやかなソースに仕上がった。味は保証します」と自信の笑顔を見せる。

石原ゼミは石巻おでんプロジェクトの事業者として登録され、石鳳祭で先行販売を行った。「おいしい」「こんな食べ方があるなんて」と人気を博した。11月3、4日にはゼミ生が道の駅「上品（じょうぼん）の郷」で消費者調査を兼ねた試験販売を行う。

東北学連選抜チームに5人

杜の都駅伝

10月29日、仙台市で行われる「第35回全日本大学女子駅伝対校選手権大会（杜の都駅伝）」の東北学連選抜チームに、女子競走部から5人が選出された。東北地区代表選考会（9月14日、仙台市）は惜しくも2位。チームとしての出場はならなかったが、各選手の走りに注目だ。

【選出選手】※敬称略
▽牧野あや（経営3・岩手県北上翔南高）▽川崎美祈（人間3・山形県山形城北高）▽千葉悠里奈（人間3・宮城県常盤木学園高）▽庄司琴美（経営2・宮城県聖和学園高）▽宍戸茉由（経営1・静岡県加藤学園高）

◇

10月1日に行われた「東北・みやぎ復興マラソン2017」（岩沼市など）のフルマラソン女子（18～24歳）に原田詠麻さん（経営3・静岡県静岡北高）が出場。東日本大震災後、宮城県で初開催された日本陸上連盟公認大会を走り切り、5位でゴールした。

4勝6敗で4位

南東北大学野球 秋季リーグ戦

春秋連覇を目指し、南東北大学野球秋季リーグ戦（8月26日～9月30日、いわきグリーンスタジアムほか）に臨んだ硬式野球部は、4勝6敗で4位。しかし、菅野一樹さん（経営2・宮城県聖和学園高）、松澤寛人さん（人間1・新潟県糸魚川高）ら投手陣はチーム防御率1・67でリーグ2位と力を発揮。打撃陣では杉山諒さん（経営2・山形県米沢中央高）が新人王とベストナイン（外野手）に選ばれた。

石巻 → 生田
国内留学体験記①

専大生の姿勢が刺激に

菊池 雄太さん（岩手県協和学院水沢第一高）

特別聴講生として前期、専修大学経営学部（神奈川県川崎市）で学んだ経営学部3年次生の「国内留学」1期生3人が留学を終えた。未知の環境で得たこと、今後への思いをそれぞれに語ってもらう。

専大のゼミ仲間と意見を交わす菊池さん（中央）

マーケティングの知識を増やし、視野を広げようと「研究開発とイノベーション」「生産管理論」などの授業を選択し、広告がテーマの石崎徹ゼミで企業のブランドキャンペーンに取り組みました。

ゼミ仲間の家で勉強したり、バドミントンサークルに入ったり。専大生の積極的な姿勢に刺激され、自分から壁を破ろうと心がけました。

授業やゼミが忙しく、やっていけるか不安だった頃、心の支えになったのが東京おもちゃショーであこがれの玩具メーカー、バンダイの方に会えたこと。インターンシップについて尋ねたり、新商品の説明を受けたりするうちに就職志望の玩具業界が身近になり、前向きになれました。

専大での生活を通して行動力が身についたのか、9月中旬には韓国・江華島（カンファド）で「環境美化活動体験研修」に参加。環境NPOの方や李東勲ゼミの後輩と湿地の草刈りなどを行ってきました。意外にも東北と似た風景で、実際に出かけて自分の目で見ることが大事だと感じています。